

## Q&A ～県庁土木部ってどんなトコ?～

Q 県の土木技術職員は何をするの? 民間会社の技術者とはどう違うの?

県の土木技術職員は、インフラの全体を総括する「トータルコーディネーター」として、「企画」から「設計」「施工」「維持管理」まで各段階すべての仕事に携わります。一方、コンサルタント会社や建設会社では「設計」や「施工」などの段階について、専門的な仕事を行います。

Q 国や市町の土木技術職員とはどう違うの?

県が行う事業は、道路、港湾、公園、河川、ダムなどがありますが、国よりも住民に近く、市町よりも一般的に規模が大きな事業が経験できますので、仕事に対して大きなやりがいとよろこびを感じることができると思います。

Q 教育・研修制度はあるの?

仕事に必要な技術力や知識を持った人材を育てるために、入庁1年目は春秋2回の初任者研修、2年目には初級監督者研修、3年目には監督者研修があり、他にも様々な研修があります。また、職場では、仕事をしながらのOJT (On-the-Job Training) により能力を向上していきます。

Q 勤務時間、休日は?

勤務時間は、原則として8時30分から17時15分。休日は、土・日、祝日などです。ただし、大雨や大雪のときは交代でパトロール等を行ったり、地元説明会が夜に行われたりする場合など、時間外や土・日、祝日に勤務することがあります(超過勤務手当は別途支給されます。)。また、勤務場所によっては、変則時間帯勤務となる場合もあります。

Q 異動はどれくらいの頻度であるの?

幅広く業務を経験できるように、最初は土木事務所など約3年毎に異動があります。また、希望する所属や勤務地について申告できる制度もあります。なお、職場が自宅から遠い人は、公舎などを利用しています。

Q 職場の雰囲気はどんなの? 職員同士の交流はあるの?

土木部の技術職(約300名)が中心となって、技術力の向上を目的とした「福井県建設技術協会」という組織を作っており、情報交換や親睦を図っています。また、職場でも先輩と一緒にイベントなどもあり、県庁の中でも土木部は風通しが良く、明るく元気な雰囲気で仕事をしています。



「かわらばんふくい」土木部職員の意外な一面イベントの企画もしています



〔全建ソフトバレー大会〕年数回、土木部の交流イベントも実施しています

# Civil Engineering

## ふくい未来をつくる

### 福井県土木技術職員のシゴト



永平寺川(永平寺門前再構築)

新九頭竜橋(仮称)

一般国道 305号

河内川ダム

お問い合わせ先 福井県土木部政策推進グループ

令和3年4月時点

〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号 福井県庁9F

TEL 0776-20-0465 FAX 0776-22-8164 メールアドレス dobokubu@pref.fukui.lg.jp

土木(総合)職は、農業土木に関する業務も行っています。

詳細は、農林水産部政策推進グループ(TEL 0776-20-0416)までお問い合わせください。

福井県職員採用試験に関する情報はこちらから <http://info.pref.fukui.jp/jinji-i/>

福井県土木部





# ふくいーの未来をつくらう



(土木部 西出 部長)



土木部では、北陸新幹線の関連事業や中部縦貫自動車道などの高速交通ネットワークの整備、足羽川ダムや原子力災害制圧道路などのあらゆる災害への対応など、県内各地で多岐にわたる重要プロジェクトを進めています。

インフラの整備により、ふくいをさらに発展させ、安全で安心な住みやすい県にするため、これからの未来を担う若い力が必要です。活躍が期待されるフィールドはますます広がっており、大きなやりがいとよきこびを感じながら自分自身も成長できる仕事が皆さんを待っています。

我々といっしょに、ふくいの未来をつくっていきましょう！

## 地域間連携を強化する 道路整備

道路改良事業を担当しています。

一般県道福井森田丸岡線は、福井市中心部と坂井市を結ぶ幹線道路であり、南北方向の交通円滑化や、広域道路網の形成を図り、また、九頭竜川に新しく橋を架けることで、周辺道路における交通渋滞の解消を目的としています。

この橋は、中央に北陸新幹線、両側に県道が整備され、新幹線と道路が橋脚を共有する全国初の一体橋となります。

<県庁技術職員の魅力は？>

県民が必要とする道路や港湾、河川、砂防などの様々な社会資本の整備に、自らが設計者・監督者として携わり、低コストで良質な社会資本を県民の皆様に提供できることが最大の魅力だと思います。



## 福井土木事務所 道路第一課

藤井 浩司 主事  
平成23年度入庁

これまでの配属先  
嶺南振興局林業事業課  
→丹南土木事務所  
→福井土木事務所



## 暮らしを守るダム整備

吉野瀬川ダム整備事業を担当しています。

吉野瀬川ダムは、越前市広瀬町地先に建設する治水ダム(重力式コンクリートダム、堤高58.0m、堤頂長190.0m)です。私はダム建設に伴う付替道路工事や自然環境への影響を確認するための各種調査業務を担当しています。

<仕事のやりがいとは？>

近年、全国では豪雨等による甚大な被害が多く発生し、地域の安心安全の確保は急務であります。一方でダム建設は大型事業であることから自然環境への配慮が特に重要であり慎重に工事を進める必要があります。環境と調和した大型事業に取り組めることにやりがいを感じます！

## 吉野瀬川ダム建設事務所 工務課

岸上 大地 主事  
平成29年度入庁

これまでの配属先  
吉野瀬川ダム建設事務所  
(H29~R1)



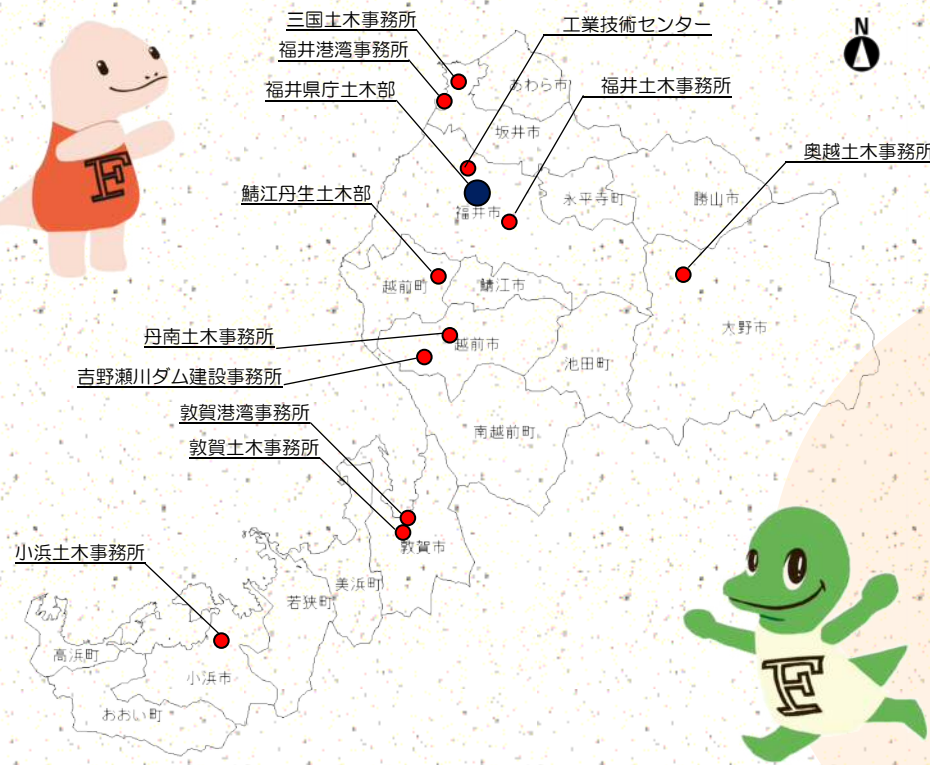
## 国土強靱化

雪崩対策工事を担当しています。



## 道路美化活動

街路緑化事業、道守活動を担当しています。



## 周辺環境と調和した 河川整備

河川の改修や維持管理を担当しています。

国内外の知名度が高い永平寺において、外国人観光客に対応した宿泊施設をメインに、旧参道の再生、永平寺川の整備などを一体的に行い、大本山永平寺、永平寺町、県が協力して、禅(ZEN)を体感できる環境を創出しました。このうち、県は永平寺川の整備を担当しています。

<将来の目標は？>

永平寺川の工事では河川の安全性の向上を図りつつ、周辺景観との調和や動植物に配慮した設計を行いました。今後も、このような環境に合わせたものづくりが重要になってくると思うので、この経験を活かし更に良いものを作ってまいります。

## 福井土木事務所 河川砂防課

重矢 智美 主事  
平成22年度入庁

これまでの配属先  
奥越土木事務所  
→小浜土木事務所  
→福井土木事務所  
(育休中)



## 安全・安心を確保 する災害復旧

道路災害復旧工事を担当しています。

平成30年7月の台風7号で発生した斜面崩壊などの災害復旧工事をしています。通行止めとなった道路の早期開通(応急工事)や斜面が再び崩れないような対策(本工事)を行い、安全安心な道路づくりを進めています。

<仕事のやりがいとは？>

災害復旧工事ということで早期復旧が求められる大変さがありますが、工事が完成し、地元の方に感謝されると何ともいえない達成感があります。

<なぜ県庁に就職したの？>

縁あって「土木」に触れ、これから先も道路等のインフラ整備や維持管理に携わっていきたく思ったからです。

<4年目の抱負は？>

異動によって勤務地や担当業務ががらりと変わりましたが、日々培っている経験や、人とのつながりを大切にして、心技体すべて成長していきたいです。

## 福井土木事務所 道路第二課

竹原 良祐 主事  
平成26年度入庁

これまでの配属先  
嶺南振興局水産漁港課→福井土木事務所



応急工事完了



FUKUI

福井県土木部

